

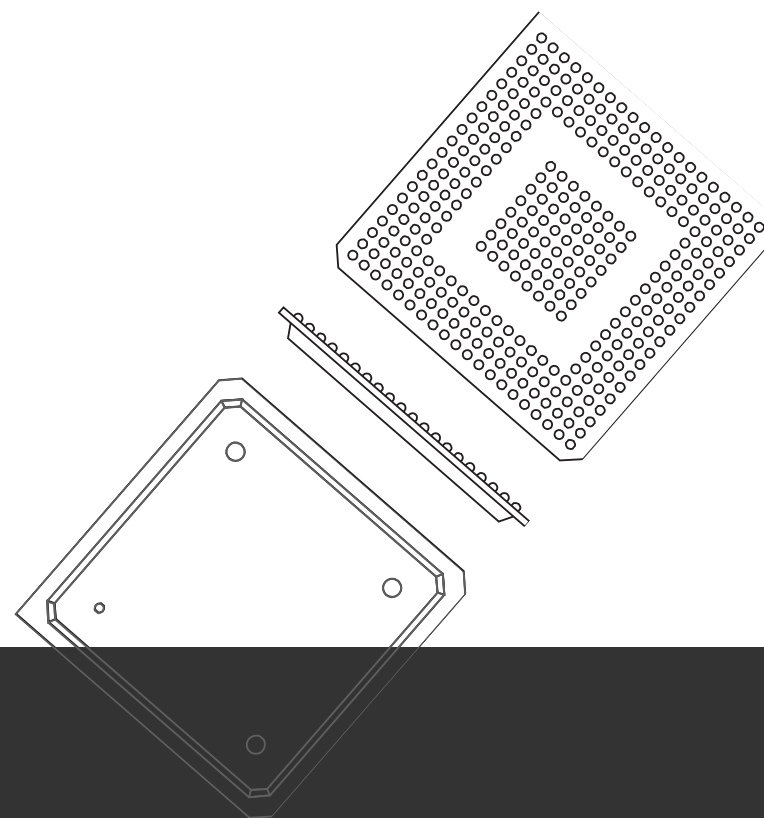
証券コード**6730**

株式会社アクセル

第18期（2013年3月期）決算説明会

2013年4月26日

代表取締役社長 松浦 一教



第18期のトピックス

1. 役員体制の変更（代表取締役の異動）
2. 当初計画に対し大幅な上方修正
 - ・ AG4への順調な移行
 - ・ メモリモジュールの好調な販売
3. 業績の見直しに伴い配当の増額修正（1株当たり年間60円 → 100円）
4. AG11の開発見直し（AG9シリーズ後継製品の開発開始）
5. ニューゾーン社株式の減損実施（302百万円） ※連結決算への影響なし
6. ニューゾーン社製品 NZ101 の採用決定（バス乗降状況確認装置等）

(単位：百万円)

	第17期	売上比	第18期	売上比	第19期	売上比
売上高	8,362	100%	16,717	100%	11,000	100%
売上総利益	4,270	51%	6,642	40%	4,800	44%
販管費	3,087	37%	3,382	20%	3,450	31%
営業利益	1,183	14%	3,260	20%	1,350	12%
当期純利益	700	8%	2,071	12%	850	8%
売上高内訳						
AM-GLSI	6,828	82%	1,0612	63%	8,500	77%
その他	1,534	18%	6,104	37%	2,500	23%
市場分析						
遊技機販売台数	385万台		380万台		380万台	
AM-GLSI販売数	119万個		170万個		140万個	
リユース	100万個程度		50万個程度		80万個程度	
市場シェア	57%程度		58%程度		58%程度	

第18期末受注残：2,251百万円

※第19期は計画値です。

※遊技機販売台数、リユース、市場シェアは当社分析による概算数値です。

※市場シェアは (AM-GLSI販売数 + リユース) ÷ 遊技機販売台数 で算出しています。

※AM-GLSIは遊技機器市場向けグラフィックスLSIを意味する。

売上高16,717百万円（8,355百万円増収）の主な要因

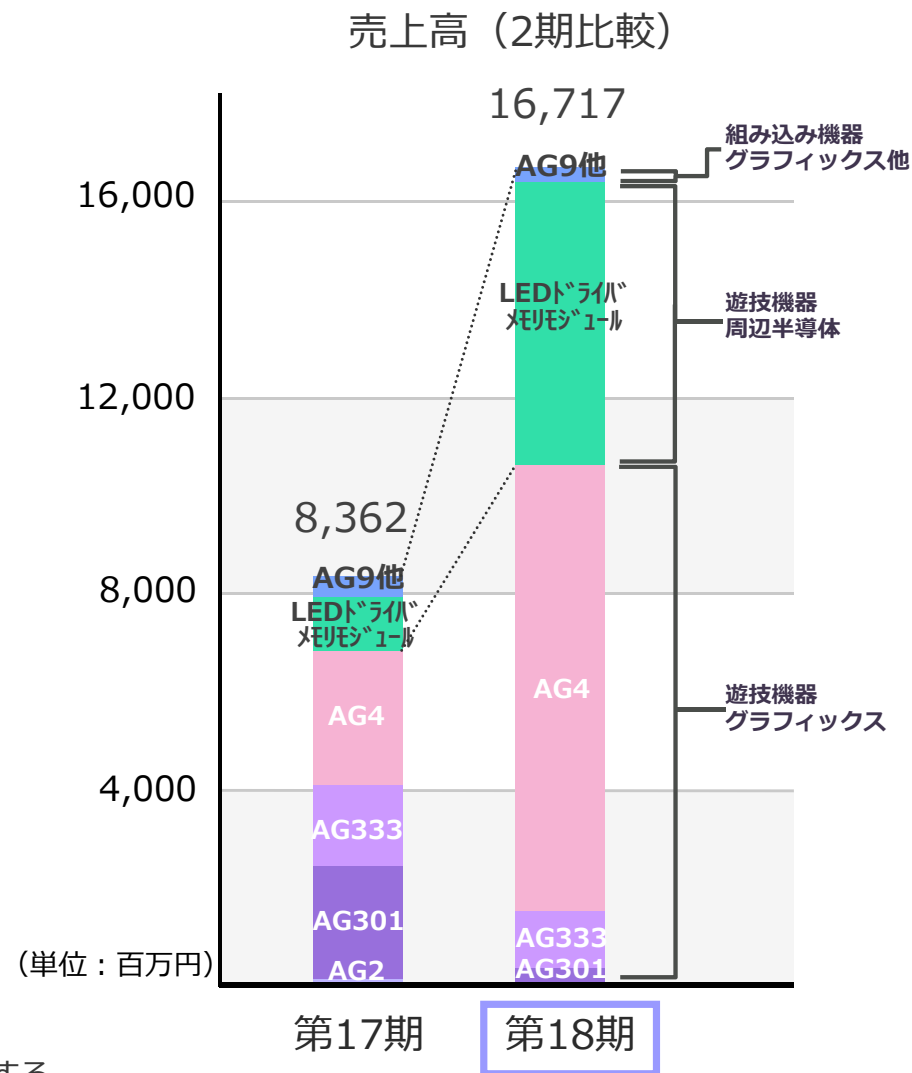
AMグラフィックスLSI：10,612百万円（3,784百万円増）

- ・販売個数：119万個 → 170万個
「AG4」への移行に伴うリユースの影響低下

その他：6,104百万円（4,570百万円増）

- ・LEDドライバLSI
：若干の減少
- ・メモリモジュール
：搭載機器の好調な販売により大幅増
- ・EMグラフィックスLSI
：海外向け産業用機器の需要減少に伴い若干の減少

※AMグラフィックスLSIは遊技機器市場向けグラフィックスLSIを意味する
 ※EMグラフィックスLSIは組み込み機器市場向けグラフィックスLSIを意味する



売上高 11,000百万円 (5,717百万円減) を計画

AMグラフィックスLSI : 8,500百万円 (2,112百万円減)

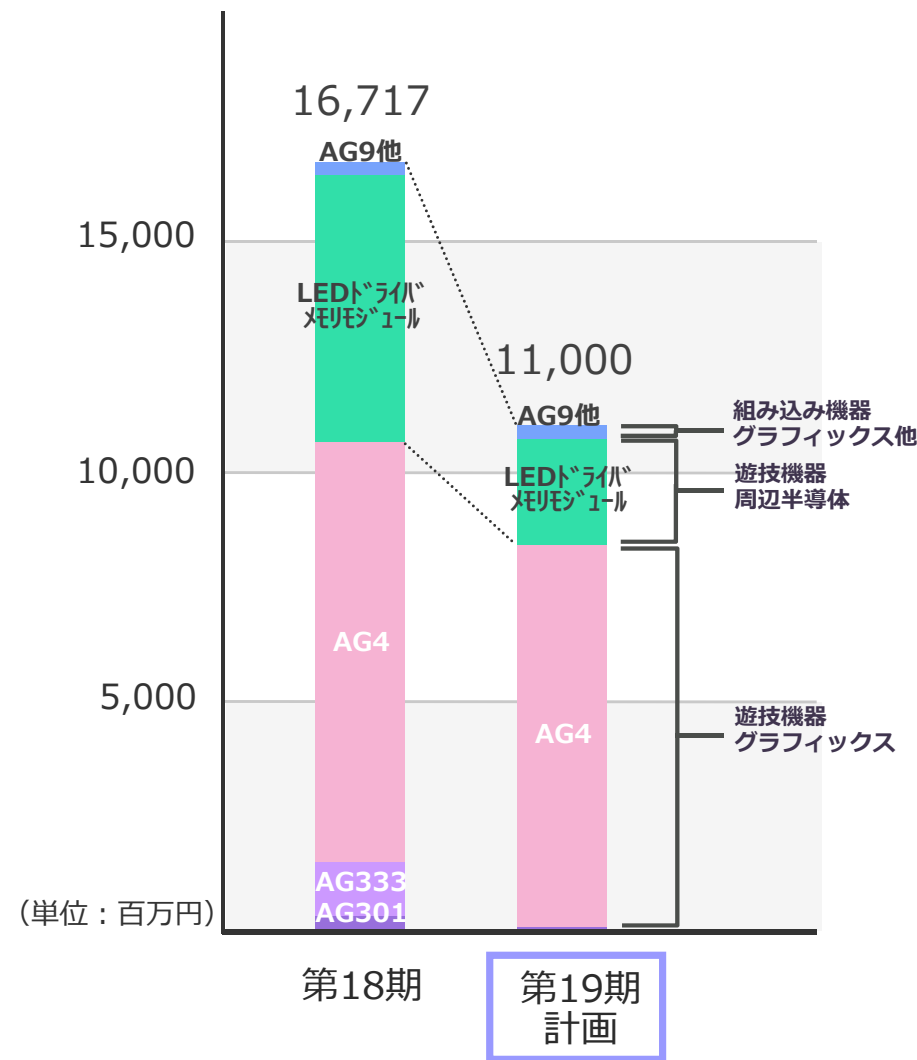
- ・販売個数 : 170万個 → 140万個

市場（遊技機器の年間販売台数）は前期並を想定
AG4のさらなる移行とAG4のリユースが段階的に浸透

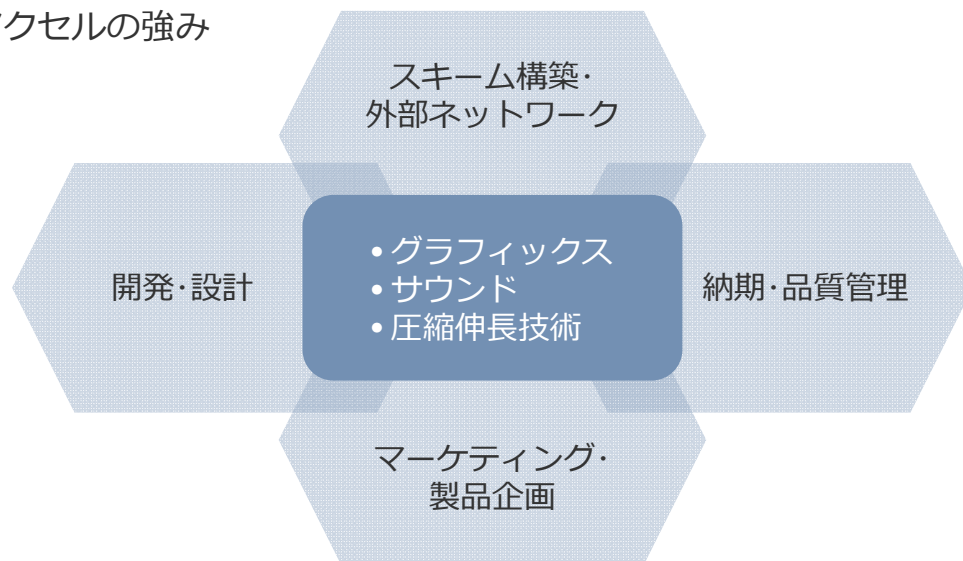
その他 : 2,500百万円 (3,604百万円減)

- ・LEDドライバLSI : 需要動向により減少
- ・メモリモジュール : リユースの影響等により減少
- ・EMグラフィックス LSI : 需要動向により減少

売上高 (2期比較)

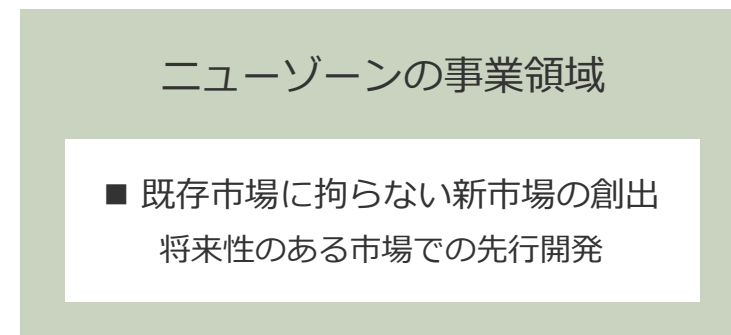
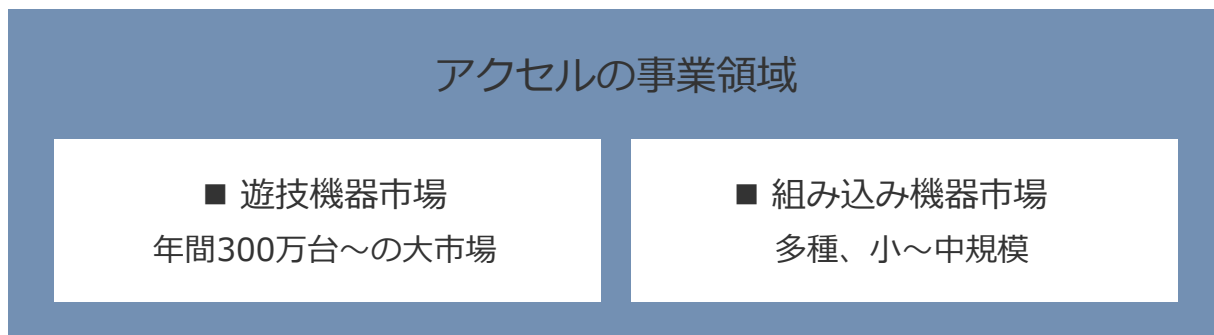


■ アクセルの強み



半導体技術を核とする
新ビジネスの創出

子会社「ニューゾーン」を設立



戦略①

遊技機器市場での
深掘り戦略

戦略②

グラフィックスLSIを核とした
組み込み機器市場への展開

戦略③

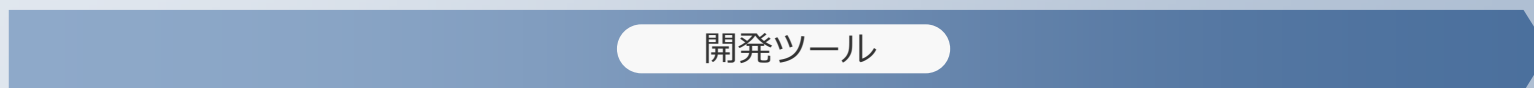
新たな市場を創出する
ニューゾーン

■ グラフィックスLSIの高性能、高付加価値化を推進



■ その他演出周辺製品のラインナップ拡充

■ 顧客の開発負担を低減する開発ツールの進化



コア技術であるグラフィックスLSIを核に、組み込み機器市場を開拓

AG902



2005年～

グラフィックス機能を強化
圧縮伸長機能を搭載

車載 POS

AG10



2009年～

Windows, Linux 搭載システム向け
低消費電力, 多画面出力

POSシステム

ATM

KIOSK端末

AG903



2015年～

AG9シリーズの後継
機能強化

AG901



2003年～

FA、計測機器、医療機器

新たな市場への展開

現在のプロジェクト：デジタル簡易無線向け各種製品の開発販売

- ・ 2008年に簡易無線のデジタル化が開始（総務省により2022年11月までにデジタル化完全移行）
- ・ データ通信が可能になったことにより潜在市場が拡大

現在の無線データ通信方式（例）

携帯電話

- インフラの整備がなされている
- 高速・大容量データ伝送が可能
- 通信コストが高い
- 緊急時の回線確保が困難

WiFi ・ ジグビー

- 高速・大容量データ伝送が可能
- 通信距離が短い
- ランニングコストがかからない



NZ ニューゾーンの提案
NEWZONE

- デジタル簡易無線の新たな提案
デジタル簡易無線を使ったデータ通信
LSI化による機器製造コストの低減
高圧縮LSIの開発による効率的な画像伝送

（例）河川水量監視



開発状況



① 無線での画像伝送用LSI「NZ101」

開発完了

- 狭帯域無線で画像データ伝送を実現
- システム製品としての販売が中心



② デジタル簡易無線用LSI「NZ201」

2014年3月期中にLSI開発完了予定

- 無線機の小型化を実現
- 機器の低コスト化に貢献

営業状況

① バス乗降状況確認装置への採用

② 「NZ101」搭載のALINCO製品（静止画伝送システム）共同開発中

③ 監視システム製品開発中（2013年6月完成予定）

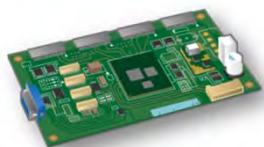
※バス乗降状況確認装置のイメージ図



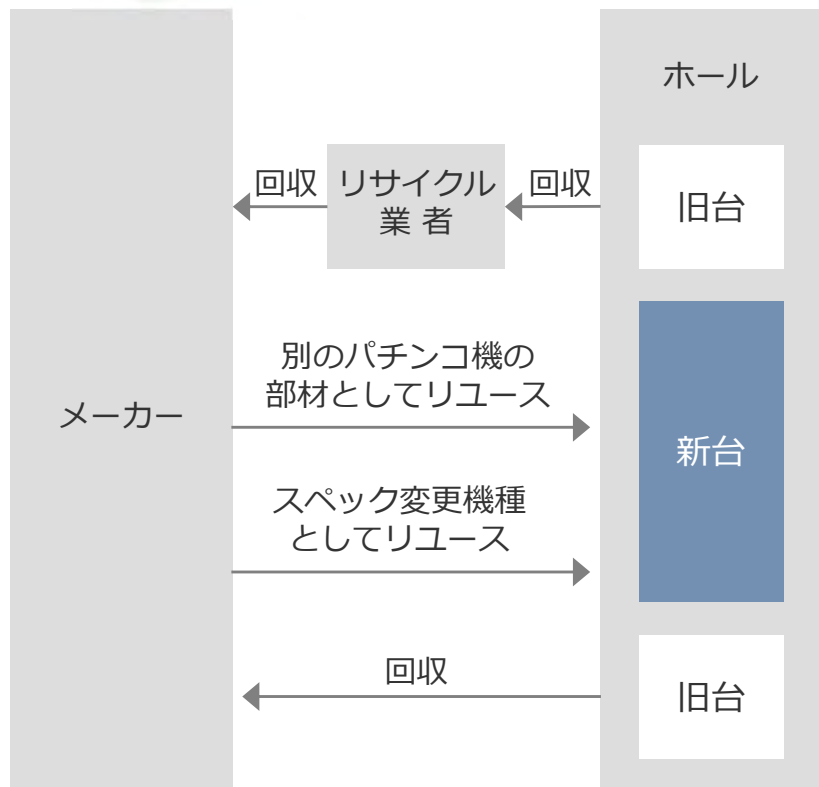
乗降状況を確認

遊技機器メーカーのコスト削減策のひとつとして浸透
製品ラインナップ充実により、リユースサイクルの谷底を上げる

リユースの構造

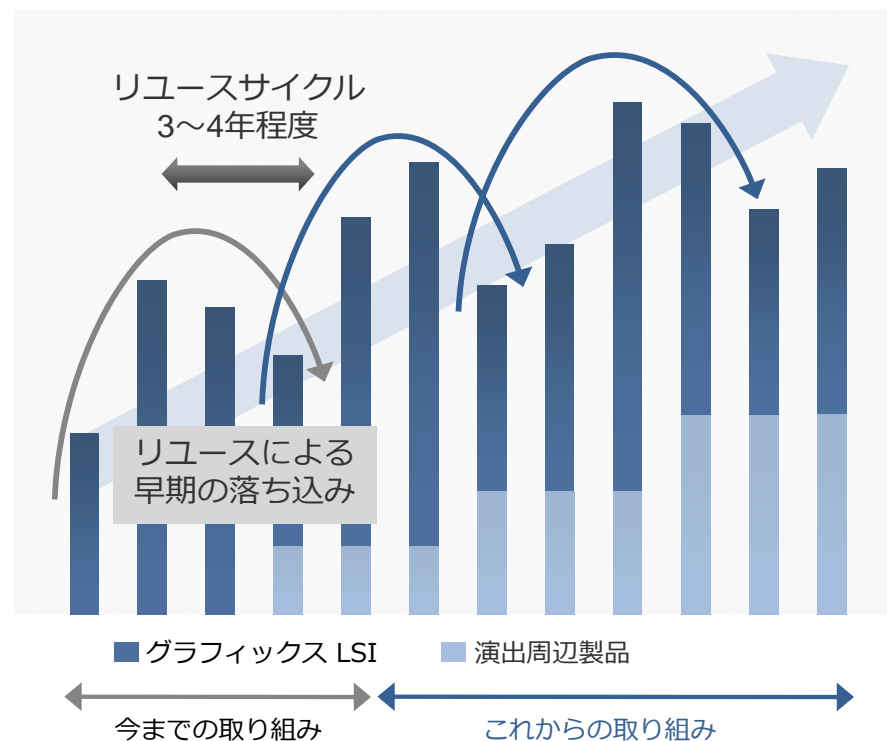


リユースの対象は、
液晶パネルや基板類

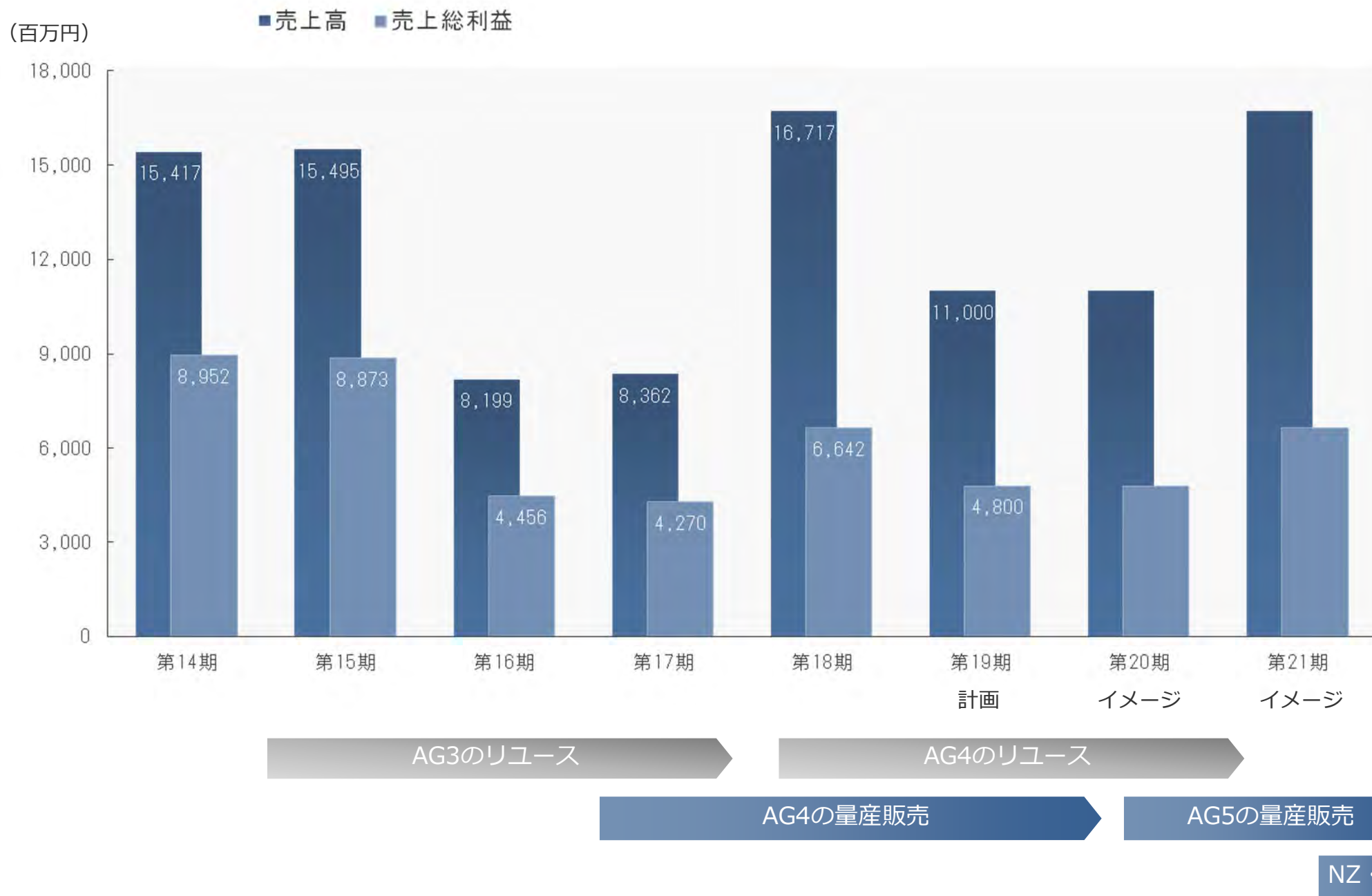


リユースサイクルと対策

- グラフィックスLSI以外の演出周辺製品の拡大により、リユースサイクルの谷底をボトムアップする

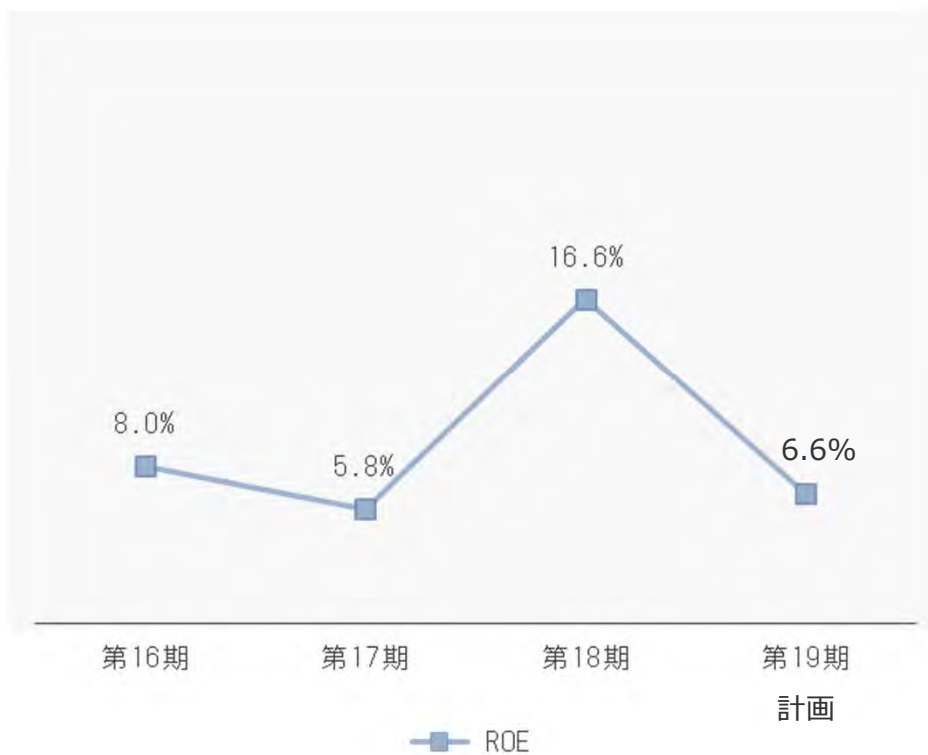


※上記グラフはリユースサイクルを説明するためのグラフであり、
グラフの高さ等は全てイメージです



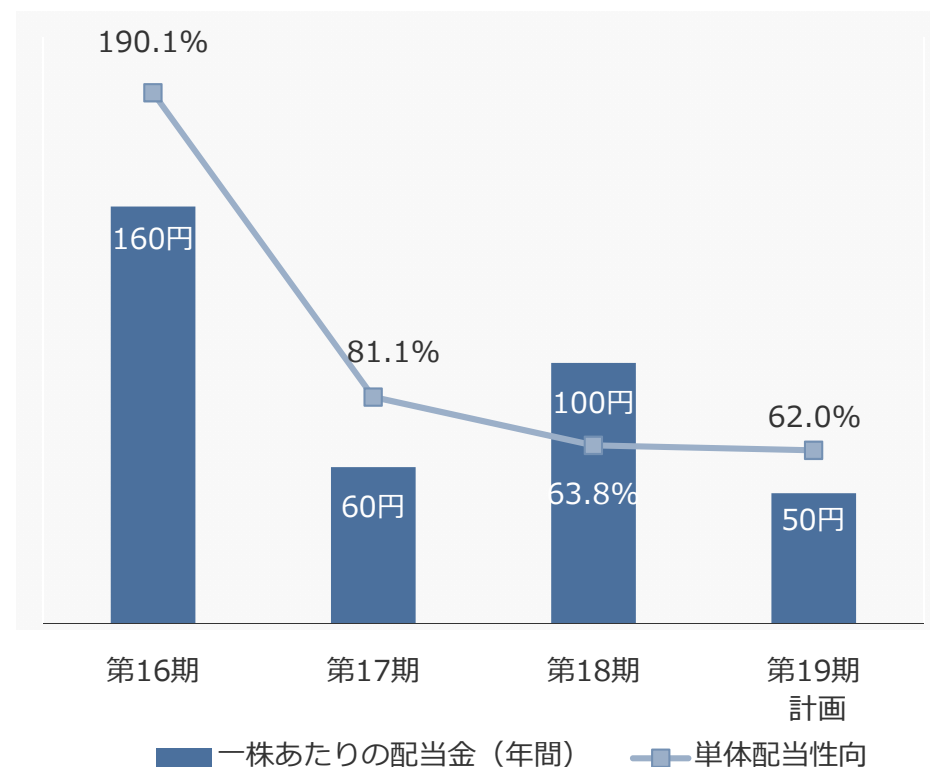
目標とする経営指標

中長期的な視点で
連結ROE10%を確保・維持



配当政策

原則として単体配当性向50%
減配になる場合は従前の配当水準を考慮



※第18期は記念配当10円を含んでおり、記念配当を除外した配当性向は57.4%となります。

1. 参考資料

- P.15 第18期 連結業績（計画の推移）
- P.16 第18期 連結業績（対前期比）
- P.17 第18期 連結販売費及び一般管理費（対前期比）
- P.18 第18期 連結従業員数の推移（対前期比）
- P.19 第18期末 連結貸借対照表
- P.20 第18期 連結キャッシュ・フロー計算書
- P.21 第19期 連結業績計画
- P.22 第19期 中間連結業績計画
- P.23 第19期 中間連結売上計画の分析

（単位：百万円）

	当初計画	売上比	7/25	売上比	10/25	売上比	実績	売上比
売上高	12,200	100%	13,800	100%	15,500	100%	16,717	100%
売上原価	7,400	61%	8,300	60%	9,300	60%	10,075	60%
売上総利益	4,800	39%	5,500	40%	6,200	40%	6,642	40%
販管費	3,450	28%	3,400	25%	3,700	24%	3,382	20%
（開発費）	(2,300)	(19%)	(2,300)	(17%)	(2,450)	(16%)	(2,155)	(13%)
営業利益	1,350	11%	2,100	15%	2,500	16%	3,260	20%
経常利益	1,350	11%	2,100	15%	2,500	16%	3,272	20%
当期純利益	800	7%	1,350	10%	1,600	10%	2,071	12%

※3/15に業績予想の修正を行っておりますが、実績値とほぼ乖離がないため、記載を省略しております。

（単位：百万円）

	第17期	売上比	第18期	売上比	増減額	増減率
売上高	8,362	100%	16,717	100%	8,355	100%
売上原価	4,091	49%	10,075	60%	5,983	146%
売上総利益	4,270	51%	6,642	40%	2,371	56%
販売費及び 一般管理費	3,087	37%	3,382	20%	294	10%
営業利益	1,183	14%	3,260	20%	2,077	176%
経常利益	1,215	15%	3,272	20%	2,056	169%
当期純利益	700	8%	2,071	12%	1,371	196%

第18期末受注残：2,251百万円

(単位：百万円)

	第17期	構成比	第18期	構成比	増減額	増減率
販売費及び一般管理費	3,087	100%	3,382	100%	294	10%
人件費	516	17%	699	21%	182	35%
研究開発費	2,042	66%	2,155	64%	112	6%
その他	528	17%	527	16%	△0	△0%

(単位：百万円)

研究開発費内訳	第17期	構成比	第18期	構成比	増減額	増減率
研究開発費 総額	2,042	100%	2,155	100%	112	6%
人件費	646	32%	849	39%	203	31%
試作開発費	653	32%	591	27%	△62	△10%
その他開発費等	742	36%	714	33%	△27	△4%

人件費の増加要因：業績連動報酬の支給（社内取締役・従業員）

第18期の主な試作開発：AG5, その他

※その他開発費等には、研究開発人員にかかる一般経費等も含まれます。

従業員数の推移		第17期末	第18期末
従業員数		74名	75名
研究開発		46名	46名
品質保証		1名	2名
営業		7名	7名
管理他		20名	20名

研究開発人員		第17期末	第18期末
半導体（LSI）設計開発		16名	15名
ソフトウェア開発		21名	22名
システム開発		9名	9名
合計		46名	46名

(単位：百万円)

	第17期末	構成比	第18期末	構成比
流動資産	12,169	95%	14,823	95%
現金及び預金	7,119	56%	9,264	59%
有価証券	3,999	31%	3,999	26%
売掛金	195	2%	720	5%
その他	855	6%	839	5%
固定資産	648	5%	825	5%
資産合計	12,817	100%	15,649	100%
流動負債	999	8%	2,496	16%
固定負債	13	0%	26	0%
負債合計	1,012	8%	2,523	16%
純資産合計	11,805	92%	13,126	84%
負債・純資産合計	12,817	100%	15,649	100%

流動負債の主な増加要因：未払法人税等（678百万円増）、未払金（344百万円増）

(単位：百万円)

	第17期	第18期
現金及び現金同等物の期首残高	10,427	11,118
現金及び現金同等物増加（△減少）額	454	2,146
新規連結に伴う現金同等物増加（△減少）額	236	—
営業キャッシュ・フロー	2,041	3,243
投資キャッシュ・フロー	△222	△352
財務キャッシュ・フロー	△1,363	△745
現金及び現金同等物の期末残高	11,118	13,264

営業キャッシュ・フロー関係

税引前純利益 : 3,179百万円
 減価償却費の計上 : 200百万円
 売上債権の増加 : △524百万円
 仕入債務の増加 : 187百万円
 その他流動負債の増加 : 511百万円
 未払消費税等の増加 : 184百万円
 法人税等の支払 : △652百万円

投資キャッシュ・フロー関係

有形固定資産の取得による支出 : △166百万円
 無形固定資産の取得による支出 : △33百万円
 投資有価証券の取得による支出 : △100百万円

財務キャッシュ・フロー関係

配当金の支払額 : △743百万円

(単位：百万円)

	第18期	売上比	第19期	売上比	増減額	増減率
売上高	16,717	100%	11,000	100%	△5,717	△34%
売上原価	10,075	60%	6,200	56%	△3,875	△38%
売上総利益	6,642	40%	4,800	44%	△1,842	△28%
販売費及び一般管理費	3,382	20%	3,450	31%	67	2%
(研究開発費)	(2,155)	(13%)	(2,300)	(21%)	(144)	(7%)
営業利益	3,260	20%	1,350	12%	△1,910	△59%
経常利益	3,272	20%	1,350	12%	△1,922	△59%
当期純利益	2,071	12%	850	8%	△1,221	△59%

販管費の主な増加要因：試作開発費の増加（第19期の主な試作開発：AG5, AG903, 無線関連等）

※第19期は計画値です。

(単位：百万円)

	第18期中間	売上比	第19期中間	売上比	増減額	増減率
売上高	9,521	100%	5,000	100%	△4,521	△47%
売上原価	5,878	62%	2,850	57%	△3,028	△52%
売上総利益	3,643	38%	2,150	43%	△1,493	△41%
販売費及び一般管理費	1,507	16%	1,700	34%	192	13%
(研究開発費)	(924)	(10%)	(1,100)	(22%)	(175)	(19%)
営業利益	2,135	22%	450	9%	△1,685	△79%
経常利益	2,142	23%	450	9%	△1,692	△79%
当期純利益	1,418	15%	280	6%	△1,138	△80%

※第19期は計画値です。

中間売上高 5,000百万円 (4,521百万円減) を計画

AMグラフィックスLSI : 3,700百万円 (1,855百万円減)

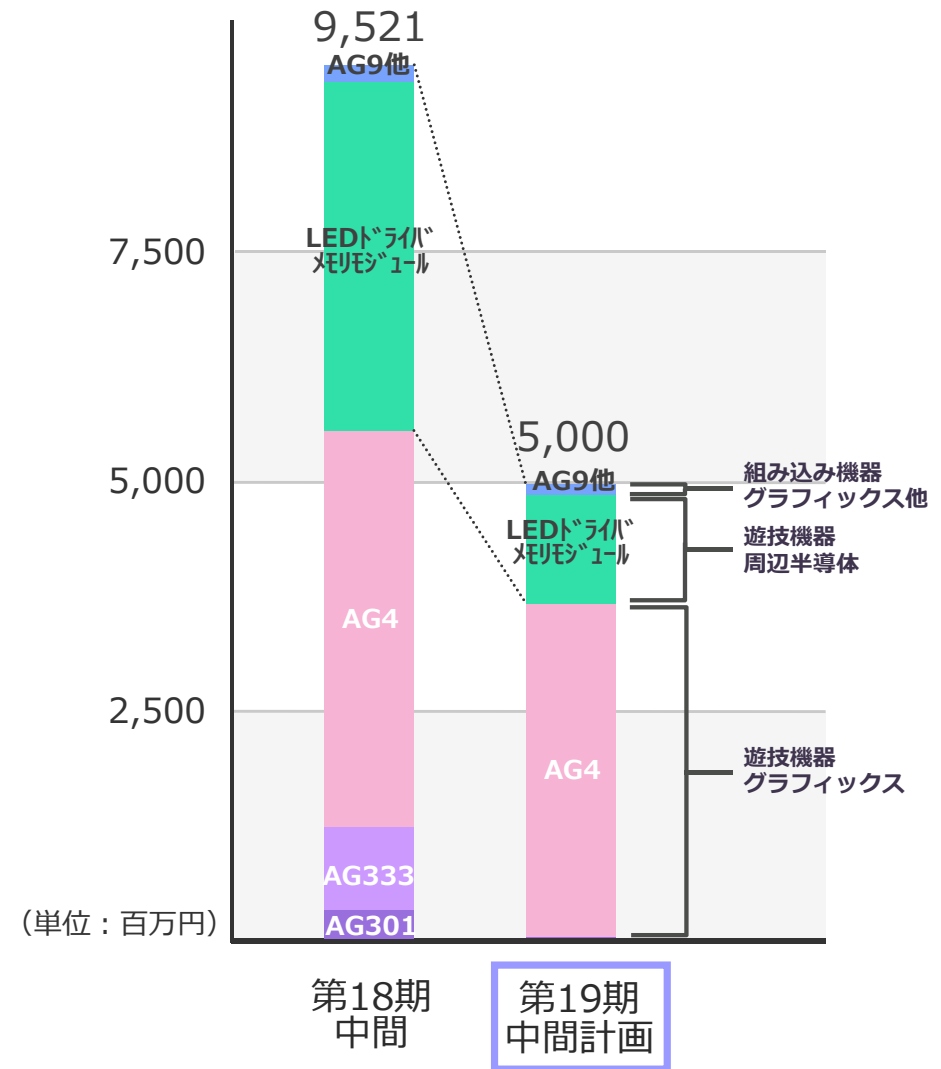
・販売個数 : 89万個 → 60万個

AG4のさらなる移行とAG4のリユースが段階的に浸透

その他 : 1,300百万円 (2,665百万円減)

- ・ LEDドライバLSI : 需要動向により減少
- ・ メモリモジュール : 需要動向により減少
- ・ EMグラフィックスLSI : 需要動向により減少

売上高 (2期比較)





本資料に記載の予想数値を含む将来に係る情報は、現時点における仮定を前提としています。

実際の業績は、今後のさまざまな要因によって大きく異なる結果となる可能性があります。

本資料の一部または全部を弊社の許可なく、転載・複写することのないようお願い申し上げます。